

第 51 回産業統計部会で示された質疑等

WEB調査、ヒアリング全般

- 調査項目の継続・削除の判断基礎になったWEB調査及びヒアリング調査について、回答者に特定のバイアスが生じていないか疑念がある。疑念を払拭できるような資料を提出してほしい。

労働者区分

- ① 工業統計調査と経済センサス - 活動調査の出向・派遣受入者数の把握範囲について、労働者ガイドラインに沿って、図示して欲しい。
- ② 労働生産性の分析において、臨時労働者を排除する理由を丁寧に説明いただきたい。
特に産業によっては、総従業者数に比して臨時労働者の数が多く、労働生産性に全く寄与していないとは言いづらく、常用労働者だけの労働生産性を見ることで、過大に数値が出てしまう恐れがあるのではないか。

臨時雇用者の男女別内訳

- ① 臨時雇用者の男女別内訳の利活用状況について、データを示してほしい（関連する統計表のアクセス件数など）。
- ② WEB調査で回答が得られた1537社のうち、回答が困難としているのは87社（5.6%）にとどまっており、これを記入困難の根拠とすることには無理がある。把握することが困難な理由について、部会で口頭で説明した事項も含めて再整理いただきたい。
- ③ 従前把握していた男女別項目を削除することについては、他の統計調査への影響も懸念されることから、内閣府男女共同参画局の意見を聞いて欲しい。

リース契約による契約額及び支払額

- ① 有形固定資産額及びリース契約高・支払額について、平成19年以前からの時系列を提示してほしい。
- ② 「有形固定資産」項目と「リース」項目が、製造業におけるリース全体の、どの部分を押さえているのか、またその金額がその程度か、整理してほしい（特に、有形固定資産に計上されないリースがどの程度あるか、わかりやすく図示して欲しい）。
- ③ 削除理由について「記入が困難」という以上は、過去の記入状況についてデータを示してほしい。
- ④ どうしても削除しなければならない理由について再整理していただきたい。
- ⑤ 前回の部会において、リース契約額は付加価値算出に使っていないとのことだったが、そもそも工業統計において付加価値は、どのような計算式で算出しているのか。
- ⑥ その算出の際に、経理上は有形固定資産として扱われないリースの金額が加味されていないとすると、付加価値が過大になると思うがいかがか。

品目別製造品在庫額

①-1 産業連関表では、在庫純増の推計基礎資料に3とおりの方法^(注)を用いているとのことであったが、それぞれどの程度の割合で利用されているのか。

(注) ①品目別在庫額の差分で算出する方法

②生産動態統計調査から把握する方法

③製造品在庫額の年末、年初の差額を品目別出荷額で案分

①-2 また、延長表での利活用はどのようになっているか。

② WEB調査の結果、「在庫は棚卸が終わらないと数値が出せない」について169件の回答が寄せられているが、これは、今回の変更で調査時期を12月31日から6月1日に変更することで解消すると思われるが、認識が異なるのか。

③ 事業所においては、品目別内訳を合算して合計値を求めていると考えられ、記入困難な理由があるとすれば、内訳の分離が企業で用いているものと調査で使用しているものとで一致していないことと思われる。このような認識で正しいか。

④ WEB調査の結果、「帳簿上の品目別の管理項目と異なる」について85件の回答が寄せられているが、これは、引き続き把握する品目別出荷額についても同様の状況であり、在庫額を廃止する理由にならないのではないか。

⑤ 削除理由について「記入が困難」という以上は、過去の記入状況についてデータを示してほしい。

⑥ 品目別在庫は、出荷量と生産量をつなぐ重要な変数であり、在庫変動がわからなければ、出荷量から生産量を計算するのが難しくなると思われるが、いかがか。

※ 生産量の計算が難しくなれば、付加価値や生産性の計算も難しくなるという問題意識

⑦ どうしても削除しなければならない理由について再整理していただきたい。